

別紙

令和8年度 広島市心身障害者福祉センター バスケットボール交流会

申し合わせ事項【交流会特別ルール】

● 交流試合

1 実施規則

- ・ 通常のバスケットボール規則に準じて行い、センター大会特別ルールを採用する。

2 対戦方法

- ・ 「バスケットボールリーグ」と「エンジョイバスケットリーグ」の2部制で、両リーグともリングリーグを実施する。(以下バスケットボールリーグを「BB リーグ」、エンジョイバスケットリーグを「EB リーグ」とする)

3 チーム構成

- ・ 登録メンバー(ベンチ入りメンバー)は最大12名とする。また、コート内でプレイする5名のチーム構成は障がい者が4名以上いなければならない。よって、障がい者以外の選手(以下:その他の選手)は1名のみとする。(たすき着用)
- ・ その他の選手が、シュートを打ちゴールした場合、得点は1点とし、上限を5点とする。
- ・ コート内で一人活動することが難しい選手が試合に出場する場合に限り、審判長の許可を得て介助者を1名増やすことができる。この介助者は、チーム構成メンバーに含まず、試合中にシュートすることやディフェンスを行うことはできない。ただし、介助についている選手に向かってパスされたボールを選手の代わりにキャッチし、その選手に渡すことや誘導補助は認めることとする。その際、介助する選手から1m以上離れてキャッチしてはならない。また介助者は1名のみコートに入ることができる。(「介護」ビブス着用)

4 審判協力

- ・ 各チーム審判員を1名選出すること
- ・ 個人申込者で構成されるチームは当センター職員またはボランティアから選出する
- ・ 選出された審判員は自チームの試合がではなく、割り振られた試合の審判をすること

5 競技時間

- ・ 試合時間は、以下のように定める。
 - ① 両リーグとも前・後半7分とし、インターバルは2分とする。
 - ② 原則ファール等でタイマーは止めない。
 - ③ ただし BB リーグはフリースロー発生時のみタイマーを止める

6 「競技方法」

<攻撃バスケットの決定>

- ・ 攻撃バスケットは、相手チームのベンチがある側のバスケットを攻撃することとする。
- ・ 前後半でコートチェンジは行わない。

<ゲームの開始>

- ・ 審判のトスアップによりゲームを開始し、後半は通常のルールに則りゲームを開始する。

<プレイヤーの交代>

- ・ 両チームともプレイヤーの交代は、何回でも行える。また、ゲームプレイヤーの構成規則内(3.「チーム構成」参照)であれば、1回の交代で何人交代しても良い。
- ・ プレイヤーの交代は審判への申告なしにいつでも行うことができる。しかしアウト→インの順番を守って行うこと。

<チャージドタイムアウト>

- ・ 両リーグとも、なしとする

<24 秒・14 秒ルール>

- ・ 24秒ルールは BB リーグのみ採用する。(オフェンス側がボールを保持してからは24秒以内にショットしなければならない)
- ・ 14秒ショットクロックルールは両リーグとも採用しない。

<3秒ルール、5秒ルール、8秒ルール、トラベリング、ダブルドリブル>

- ・ これらのバイオレーションについては、厳しくはとらない。しかし、ボールを持って長く走ったり、バイオレーションが自チームに有効な手段となる場合(相手側に対して明らかに不利になる場合)については、反則行為とみなす。

<ファール>

- ・ ファールについては、参加者の安全を守るために、通常ルールと同様に指摘する。

<フリースロー>

- ・ フリースローは BB リーグのみ実施する。その他の選手がフリースローの権利を獲得した場合、本人はフリースローを打つことはできず、代理としてチームの障がい者が打つこととする。
- ・ EB リーグではファールされたチームがサイドラインから再開する。

<ボールについて>

- ・ 主催者が用意した 6 号球を試合球として使用する。

<その他>

- ・ 順位を決めないこととする。
- ・ ユニフォームのあるチームは、濃淡どちらか1色を選び交流会通じて着用すること。
(ただし対戦相手と同色になる場合は主催者から連絡・調整を行う場合もある)
- ・ ユニフォームのないチームはビブスがあれば持参、ない場合は主催者側でビブスを用意する。
- ・ 試合開始時間は原則前の試合の終了後 10 分後とする。変更する場合は主催者の決定により行う。
- ・ 試合のルール運用は主審が決定権を持つこととする。

● 交流イベント「第2回シュート王者決定戦」

<①フリースロー対決>

- ・ 3本シュートし1本でも入れば本戦に進める予選をおこなう。
- ・ 本戦では1本勝負を行い最後まで勝ち残った人を優勝者とする。

<②3ポイントシュート対決>

- ・ 3本シュートし1本でも入れば本戦に進める予選をおこなう
- ・ 本戦では1本勝負を行い最後まで勝ち残った人を優勝者とする。

<ボールについて>

- ・ ボールは持参されたボールまたは主催者が準備したボールを使用する。

● その他

- ・ その他、交流会実施に伴う詳細は主催者の決定により行う。
- ・ 参加者は主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うことを了承の上、参加すること。
- ・ 「交流会」の名の通り、交流を楽しむこと。